

# 令和4年度第1回宮城県特定家畜伝染病対策本部会議

日 時：令和4年11月23日（水）  
午前11時00分から

場 所：行政庁舎4階 特別会議室

## 次 第

1 開会

2 議題

高病原性鳥インフルエンザの発生と対応について

3 閉会

令和4年度第1回宮城県特定家畜伝染病対策本部会議  
出席者名簿

<本部長>

役職	職	氏名	備考
本部長	知事	村井 嘉浩	欠席
副本部長	副知事	遠藤 信哉	本部長代理
副本部長	副知事	池田 敬之	
本部長	教育長	伊東 昭代	
"	公営企業管理者	佐藤 達也	
"	総務部長	志賀 真幸	(代理) 副部長 小野寺 邦貢
"	復興・危機管理部長	佐藤 達哉	
"	企画部長	千葉 章	
"	環境生活部長	佐藤 靖彦	
"	保健福祉部長	伊藤 哲也	(代理) 副部長 坂井 均
"	経済商工観光部長	千葉 隆政	
"	農政部長	宮川 耕一	
"	水産林政部長	吉田 信幸	
"	土木部長	千葉 衛	
"	会計管理者兼出納局長	富田 政則	
"	警察本部長	原 幸太郎	
"	危機管理監	千葉 伸	

<事務局>

所属	職	氏名	備考
復興・危機管理部 復興・危機管理総務課	参事兼課長	佐藤 芳明	
農政部 農業政策室	室長	常陸 孝一	
農政部 家畜防疫対策室長	技術参事兼室長	齋藤 裕	

(敬称略)

## 異常家きん等の届出を受けた際の報告

- 1 届出受理 令和4年11月22日(火) 13時28分
- 2 届出受理者氏名: 東部家畜保健衛生所 防疫班
- 3 異常家きんの所在地  
所在地 気仙沼市
- 4 当該施設に関する情報  
肉用鶏(品種:チャンキー), 飼養羽数:21,000羽  
飼養形態:平飼い, 開放鶏舎  
3鶏舎(①~③号鶏舎)のうち, ③号鶏舎で死亡羽数の増加
- 5 届出事項  
異常家きんの週齢:42日齢  
主な症状(稟告):沈鬱, へい死  
異常家きんの家きん舎の分布状況:鶏舎内に散在  
既に実施済の検査:無  
直近3日間程度の死亡羽数の推移  
(11/19 20羽 11/20 40羽 11/21 200羽 11/22 1000羽)
- 6 既に講じた措置  
家きん, 堆肥, 飼料の移動自粛  
関係者及び防疫従事者以外の立入制限  
鶏舎及び農場敷地内の出入り口への消石灰散布

気仙沼市の養鶏場における高病原性鳥インフルエンザ発生疑いについて

経過及び予定

【11月22日(火)】

- 13:28 異常畜通報
- 14:15 東部家畜保健衛生所 出発
- 15:46 農場到着
- 16:00 簡易検査 開始
- 17:30 簡易検査陽性
- 18:20 農場から仙台家保に検体搬送 農場出発
- 19:50 検体が仙台家保 到着
- 21:35 遺伝子検査 開始

【11月23日(水)】

- 6:00 遺伝子検査 陽性  
農林水産省へ報告
- 11:00 疑似患畜確定(プレスリリース), 記者対応
- 11:00 対策本部会議開催
- 11:00 殺処分開始

【11月24日(木)】

- 殺処分完了見込み

【11月26日(土)】

- 農場消毒, 防疫措置完了見込み

## その他防疫措置に係る情報

### 1 動員

県職員, 市職員, 建設業協会員ほか

### 2 殺処分羽数

合計 約21,000羽

### 3 汚染物品の処理

焼埋却処分とする

殺処分した鶏:プラスチック密閉容器に入れ, 外側を消毒後, 焼却処分

飼料:埋却処分又は封じ込め(現場により対応)

鶏糞・たい肥:消石灰散布・ビニールシート被覆による封じ込め処理(90日間)

### 4 移動制限等

移動制限(3km圏内:2農場):現在, 空舎

搬出制限(10km圏内:6農場, 合計飼養羽数:約124,000羽)

### 5 消毒ポイント

3か所設置

消毒P ID	路線名	ポイント名称	所在地	管理者
東消0005	国道45号	花の蓮気仙沼P-キング	気仙沼市松崎五駄鱈	国交省東北地方整備局
東消0003	国道284号	新月P-キング	気仙沼市下八瀬	気仙沼土木事務所
東消0015	国道45号	津谷長根休憩所	気仙沼市本吉町津谷長根	国交省東北地方整備局

### 6 防疫措置支援センター

県気仙沼合同庁舎

### 7 発生農場確認検査

3km圏内:2農場:現在, 空舎のため実施しない。

# 農場での作業

班毎にリーダーの指示に従って下さい。

家きん取出し係



- ・採卵鶏では、鶏の翼や足をつかみケージから取り出し、運搬係が運ぶ台車に載せたポリ容器に10羽入れていく(すでに死亡している鶏はそのまま残す)。
- ・肉用鶏では4人が板やネットで鶏を囲み、3人で捕鳥し、ビニール袋を敷いたポリ容器に5羽程度(鶏の大きさによる)入れ運搬係へ渡す。
- ・総羽数確認のため、ポリ容器に入れる羽数はリーダーの指示に従って下さい。

運搬係



- ・採卵鶏では、台車に載せたポリ容器に規定の羽数を入れて炭酸ガス注入係まで運ぶ。更に空のポリ容器にビニール袋を敷き、捕鳥係まで運ぶ。
- ・肉用鶏では台車又は仮設レールを使い殺処分係へ運ぶ。また空の容器を採卵鶏と同様に捕鳥係まで運ぶ。

炭酸ガス注入係



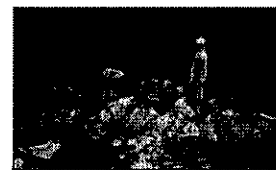
- ・鶏が入ったポリ容器に5秒間炭酸ガスを噴射し、蓋を閉め1分間静置後容器を左右に揺すり、羽音などの生存反応を確認する。死亡を確認したら搬出係へ渡す。

搬出係



- ・鶏の入ったビニール袋をポリ容器から取り出し、口を専用バンドで結束後鶏舎外に搬出しフレコンバックに投入。
- ・焼却の場合は、ビニール袋をミッペールに詰め、搬出の準備をする。

埋却チーム



- ・掘削した埋却溝に石灰を散布し、シートを敷き準備をする。
- ・重機で運ばれてきたフレコンバックの埋却溝投入補助を行う。
- ・焼却の場合は、トラックによる搬出の準備及び焼却作業を補助する。

清掃・消毒チーム



- ・殺処分及び鶏の搬出が終わったら、鶏舎内の鶏卵・鶏糞・飼料等の搬出、清掃、消毒を順次行う。